



＜本年度クラブ会長方針＞

**変わる勇気と変える勇気を持ち、
 和の心でロータリーの輪を広げよう！**

2024-25年度R.I.会長
 ステファニー A.アーチック

承認 1985年2月12日 会長 飯田昭夫 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
 例会日 木曜日12時30分 幹事 木村吉伸 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
 例会場 名古屋東急ホテル URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第1962回例会

職業奉仕月間
 令和7年1月9日(木)
新春夜間例会
 於 川由

出席計算数 52名中41名出席
 出席率 78.85%
 前々回出席率 87.82%
 82.85%

会員61名

例年プログラム

★米山奨学生挨拶・奨学金授与
 ★新春夜間例会

ゲスト

米山奨学生 エンバヤルホラン

ニコソックス

新年あけましておめでとうございます
 ます。親睦活動委員会の皆様、本
 日の設置ありがとうございます。

- 草野 勝彦・尾上 昇
- 岡田 尚彦・堀江 英弥
- 松本 哲朗・酒井 修
- 吉田 憲一・鬼頭 茂成
- 山口 正孝・杉本 忠夫
- 川島 勇基・仲林 宏昌
- 岡部 快雅・内藤 啓喜
- 河合 誠弥・加茂田義幸

あけましておめでとうございます。
 本年もよろしくお願ひします。

小笠原和俊

あけましておめでとうございます。
 皆さんにとって素敵な一年となり



ますように！
 親睦活動委員
 会の皆様あり
 がとございます



加藤巳千彦
 横川 誠人
 松岡 毅
 堀 曜子
 道を渡ってき
 ました。
 小澤 幸男
 今年もよろし
 くお願ひしま
 す。
 林 順治

あけましておめでとうございます。
 本日はよろしくお願ひします。
 親睦活動委員会一同

会長挨拶

会長 飯田 昭夫



新年あけましておめでとうございます。
 本日は新春例会です。

親睦活動委員会の皆様には、年末
 と年始、続けての夜間例会の設置
 有難うございます。よろしくお願
 いします。
 本日は折角の新春夜間例会です
 ので、会長挨拶はこれまでとしま
 す。ありがとうございました。

新春親睦例会

親睦活動委員会挨拶

委員長 西脇 良輔



新しい年を迎えるにあたり、恒
 例の新春例会を華やかに開催いた
 しました。尾張旭市出身の津軽三
 味線ユニット、岡野兄弟をお招き
 して、新春にふさわしく雅で力強
 い三味線の音色を存分に楽しんで
 いただき、皆様とクラブにとって
 2025年の良いスタートになっ
 たかと思ひます。

ご参加いただいた会員の皆様、
 ご参加いただきありがとうございます
 ました。親睦
 活動委員会一
 同、御礼を申
 上げます。

おかのきょうだい
岡野兄弟



岡野将之(兄)、岡野哲也(弟)

尾張旭市出身(旭丘小学校、東中学校卒
 業)／尾張旭市ふるさと大使

平成16年 スイス公演

平成17年 愛知万博(愛・地球博)公演

平成18年 岡野兄弟コンサート 駒ヶ根

市文化会館(900人)



平成23年 自主公演「弦鼓の響夏」尾張
 旭市文化会館(1,000人)
 津軽三味線フロアとして活動
 スタート

平成26年 大衆文化・福祉応援賞 受賞
 平成29年 アメリカ公演(哲也氏)
 平成30年 オランダ公演(哲也氏)
 令和2年 TSUGARU-SHAMISEN
 CONTEST2020ハンタ
 ティメント賞受賞(将之氏)
 令和4年 名古屋津軽三味線教室を
 開講(将之氏)

乾杯

会長

飯田 昭夫

中締め

副会長

松本 哲朗



米山奨学生挨拶・奨学金受取
エンフバヤル・ホラン



皆さん、こんにちは。あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新しい年が始まりましたが、皆さんはお正月をどのように過ごされたでしょうか。私にとっては、今年の新年は一生忘れることのできない、特別なものとなりました。渡辺観永さんや渡辺由美さんの「厚意でお寺を訪れ、初めて除夜の鐘を鳴らす貴重な体験をさせていただきました。その厳かで心に響く音色を通じて、心が洗われるような気持ちになり、これまでの一年を振り返ることも、新たな一年への決意を固めることができたと思っています。

お寺では、渡辺観永さんの「今年もしっかりと生きていきます。今年もしっかりと歩んでいきます」という自分自身への誓いを込めてお祈りをしてくださいと言ったことが、私にとって力強い励みとなりました。振り返ると、これまでの私は、何かに追われるように慌ただしい日々を過ごしていた気が

がします。「頑張りなくてはいけない」と自分に言い聞かせてはいたものの、本当の意味で「頑張り」と前向きに自分を励ましたことは少なかつたように感じています。今回の経験は、そんな私に深い気づきを与えてくれました。そしてこれからは焦るのではなく、ひとつひとつの歩みを大切にしながら自分らしく生きていきたいと思っています。

このような機会をくださった渡辺観永さん、そして渡辺由美さんに心よりの感謝申し上げます。また、この新しい年が皆さんにとっても健康で幸せに満ちた一年となることを願っています。ご自身を大切に、そして周りの方々と愛情を分かち合いながら、素敵な時間を過ごしますようお願いいたします。本日の挨拶は以上となります。ありがとうございます。

2023学年度・2024学年度
米山奨学生(2年)
エンフバヤル・ホランさん

生年月日：1998年2月3日(26才)
国籍：モンゴル
在籍：星城大学経営学部4年
米山奨学期間：2023年4月1日～2025年2月31日



その他・お知らせ

派遣青少年交換学生

マンスリーレポート(12月)
青少年交換学生 渡辺 唯加
ワウフル/ベルギー



お久しぶりです。12月に入るとベルギー全体がクリスマスに向けていろいろな準備をし始めました。伝統的なヨーロッパの建築は赤や白のイルミネーションで光り輝き、いたるところにサンタさんや聖ニコラスのぬいぐるみがおいてあり、街を歩くだけでもクリスマスへの期待がわかりました。

私は仏教ということもあり、これまでちゃんとしたクリスマスの行事というのをやってこなかったのですが、こんなものを食べるのか、どんな風に過ごすのか、楽しみが抑えきれませんでした。もちろん私のホストファミリーの家でも、クリスマスの飾りを筆筒から取り出して家中に飾り付けました！小さな雪だるまや、キリスト誕生時の物語をもとに作られた人形などとにかくあるだけ飾って、もうクリスマス気分が分かっていました。着々と進め



ていって、ついに大本命のクリスマスツリーを作るということで、ホストファミリーと一緒に出かけたのですが、私の想像は外れて、着いたのは木を売っているところでした。なんと、ホストファミリーの家では毎年クリスマスツリーを偽物の木ではなく、本物の木を買って作っているそうです！これには本当にびっくりして、同時にこんなに本格的なのだ再確認しました。そしてクリスマスツリーを買った帰り道、ラッキーなことに街を歩いていた聖ニコラスに会うことができて、写真を撮ってもらえました！この思い出は忘れられません。

それともう一つ、私はクリスマスにおける文化の違いを感じた話がありました。日本という24・25日のクリスマスは、子供が良い子だったからサンタさんからプレゼントをもらえるというお話ですが、こちらのお話ほんの少し現実的です。まず、24・25日のクリスマスは必ず家族と過ごし、あくまで

も家族とプレゼント交換をするという日ではないそうです。それは別に12月7日St. Nicholas Day というものがあり、こちらは日本のクリスマスと似ていて、いい行いをした子供たちに聖ニコラスがプレゼントを持ってきてくれるというものでした。1日当日は、階段や床にチョコやクッキーがたくさん置いてあり、ホストファミリーたちと食べながらリビングへ行きました！私には帽子やパズルやスプライトなど、欲しかったものや大好きなものたちがいっぱい置いてあつて本当にうれしかったです。そしてなんとといっても、ヨーロッパのクリスマスといえばクリスマスマーケット！私の長い憧れでもあったので、行けるだけ行くこと思い、12月中旬に計5つのクリスマスマーケットに行きました！そのうちの1つはロータリーのアクティビティで行ったドイツのケルンククリスママーケットでした。三大クリスマスマーケット





そして肝心の24・25日はホストマザーのご両親のおうち、ホストファミリーのご両親のおうちで過ごしました。どちらも全く違う食事や過ごし方で本当に面白く、家族の大切さを知れた二日間になりました。プレゼント交換会では、私は計三つのプレゼントをいただいたのですが、どれもほんとうに可愛くて、一生をかけて使えるものばかりです。くうれしかったです。そのうちの二つだった赤いセーターはクリスマスシーズン限定のセーターだったので、とても好きなデザインだったので、新

の一つと言われている通り、私が行った5つの中でも一番華やかでおいしいものがたくさんありました！12月はクリスマスのおかけで本当に夢のような一か月間で、写真を見返すたびに幸せな気持ちに包まれます。



▲ホストマザーの実家のクリスマス
年もこれを着て過ごしました。

◀ケルンのクリスマスマーケット
ブリュッセルのクリスマスマーケット▶



▲ホストマザーのご両親の家でのディナー



▶80年代に作られたワイン
▲ホストファミリーのご両親の家でディナー

ホストマザーと一緒に行った「Downtown」のクリスマスマーケット
クリスマスが終わると、私が通っている室内楽の習い事のコンサートがあり、教会でヴィオラをひかせていただきます。初めての経験なのでとても楽しかったです。コンサートにはホストファミリーが聞きに来てくれました！
ですが、そんな楽しい生活もあっという間で、28日は初のホストタッチが行われました。4か月間お世話になったファミリーとのお別れは本当に悲しかったです。精いっぱい感謝の思いを手に書いて渡しました。最後の夜には私が大好きなカルボナーラを作ってください、思い出をたくさん喋りました。
次の日の夜には、全ホストファミリーが集まったディナーがあり、ほかのインパウンドと泣きそうだよ、と

言いながら時間を過ごしました。次のホストファミリーもとてもいい方で、なんといっても料理がおいしく、学校が家の目の前なので少し寝過ぎしても大丈夫なのが本当にありがたいです！
新年はほかのインパウンドと過ごし、一緒にテレビを見たりご飯を作ったりしました。アメリカから来た子たちなどは次々と帰ってしまつて寂しいと感じることも同時に、もう5か月が過ぎたと自分でも信じていることができません。これからこの留学に後悔を置いてこないよう、一日一日を大切に過ごしたいと思います。
長くなりましたが、皆様あけましておめでとうございます。本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。



1月23日(木)例会の案内

自衛隊講話
「令和6年熊谷半島防災講話」
防衛省自衛隊愛知地方協力本部
金山募集案内所
所長 平井 邦典さん
担当広報官 八木 一夫さん
(紹介者：渡辺 観水さん)

公共イメージ向上委員会

横川 誠人
深谷 昭広・小笠原和俊
小澤 幸男・黒岩 麗子
*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。